

プログラム 第2日目 10月19日(土)

第1・2会場 1F 白鳥ホール(北)・(南)

8:30~9:10 特別講演3

「認知症施策の総合的推進について」

座長：西野 憲史（医療法人ふらて会 西野病院）

演者：大島 一博（厚生労働省 老健局長）

9:10~9:50 特別講演4

「本人・家族からみた認知症予防への期待と不安」

座長：浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科生体制御学）

演者：鈴木 森夫（公益社団法人 認知症の人と家族の会）

9:55~10:45 特別講演5

「認知症予防は共生と共通の理念で並走する」

座長：櫻井 孝（国立長寿医療研究センター・もの忘れセンター）

演者：鳥羽 研二（東京都健康長寿医療センター 理事長/
国立長寿医療研究センター 理事長特任補佐）

第1会場 1F 白鳥ホール(北)

12:00~12:50 ランチョンセミナー5

「フレイルへの漢方応用—人參養栄湯を中心に」

座長：鳥羽 研二（東京都健康長寿医療センター 理事長/
国立長寿医療研究センター 理事長特任補佐）

演者：乾 明夫（鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 漢方薬理学講座）

共催：クラシエ薬品株式会社

13:00~15:00 シンポジウム7

「認知症の血液バイオマーカー」

座長：滝川 修（国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）戦略推進部
脳と心の研究課）

徳田 隆彦（京都府立医科大学 分子脳病態解析学）

S7-1 アルツハイマー病の脳内アミロイド病変を捉える血液バイオマーカーの有用性
中村 昭範（国立長寿医療研究センター脳機能画像診断開発部）

S7-2 アルツハイマー病の血液バイオマーカー：血液 p-tau 及び脳由来エクソソームの有用性
徳田 隆彦（京都府立医科大学 分子脳病態解析学）

S7-3 神経変性を予測する血液バイオマーカーとしての Neurofilament Light (NFL) 概説

里 直行（国立長寿医療研究センター 認知症先進医療開発センター 分子基盤研究部）

- S7-4 microRNAs を標的にした認知症マーカーの可能性
新飯田 俊平 (国立長寿医療研究センター)
- S7-5 認知症バイオマーカーの実用化に向けた取り組み
吉田 智一 (シスメックス株式会社 中央研究所・事業推進室)

15:10~17:10 シンポジウム 8

「脳と心臓・血管」

座長：清水 敦哉 (国立長寿医療研究センター・もの忘れセンター)

- S8-1 認知症予防と血圧管理
山本 浩一 (大阪大学大学院 医学系研究科 老年・総合内科学)
- S8-2 血圧変動性と脳変性
小森 孝洋 (自治医科大学内科学講座循環器内科学部門)
- S8-3 心房細動と認知症：認知症予防への古くて新しいアプローチ
佐治 直樹 (国立長寿医療研究センター もの忘れセンター)
- S8-4 左室拡張障害と大脳白質病変
野本 憲一郎 (国立長寿医療研究センター)

17:20~19:20 シンポジウム 9 予防学会・日臨技合同シンポジウム

「耳鼻科領域と認知症との関連～検査から診療のエビデンス～」

座長：内田 育恵 (愛知医科大学)

深澤 恵治 (一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会)

- S9-1 難聴と認知症に関する臨床研究について最近の話題と今後の展望
佐治 直樹 (国立長寿医療研究センター もの忘れセンター)
- S9-2 高齢者の聴覚検査の実際
加賀 宏 (帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科)
- S9-3 高齢難聴者における補聴器の重要性
内田 育恵 (愛知医科大学 耳鼻咽喉科/国立長寿医療研究センター)
- S9-4 聴覚に依存しない新規認知機能評価尺度の開発
大森 孝一 (京都大学大学院 医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

第2会場 1F 白鳥ホール (南)

12:00~12:50 ランチョンセミナー 6

「乳・乳製品摂取の視点からみた認知症予防」

座長：鈴木 隆雄 (桜美林大学 老年学総合研究所)

演者：金 憲経 (東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム)

共催：株式会社明治

- 13:00~15:00 シンポジウム 10 日本地域理学療法学会合同シンポジウム
 「運動と認知機能 疫学と介入研究からの知見」
 座長：島田 裕之（国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター）
 牧迫 飛雄馬（鹿児島大学医学部保健学科 理学療法学専攻 基礎理学療法学講座）
- S10-1 運動習慣と認知症～疫学研究からの知見～
 牧迫 飛雄馬（鹿児島大学医学部保健学科 理学療法学専攻 基礎理学療法学講座）
- S10-2 非侵襲的脳刺激法と認知機能
 金子 文成（慶應義塾大学 医学部リハビリテーション医学教室）
- S10-3 運動による認知機能に対する効果
 土井 剛彦（国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター
 予防老年学研究部）
- S10-4 認知症高齢者に対する運動の効果
 橋立 博幸（杏林大学 保健学部 理学療法学科）
- 15:10~17:10 シンポジウム 11
 「多様な視点での認知症のリハビリテーション」
 座長：大沢 愛子（国立長寿医療研究センター）
 前島 伸一郎（金城大学）
- S11-1 リハビリテーション科医の視点—医学的判断への配慮
 前島 伸一郎（金城大学）
- S11-2 言語聴覚士の視点—コミュニケーション能力への配慮—
 吉村 貴子（京都先端科学大学）
- S11-3 認知症専門医の視点—認知症の人の気持ちへの配慮
 山口 晴保（認知症介護研究・研修東京センター）
- S11-4 認知症の人への生活への配慮
 大河内 二郎（介護老人保健施設竜間之郷/全国老人保健施設協会）
- S11-5 精神科医の視点 行動・心理症状への配慮
 船山 道隆（足利赤十字病院神経精神科）
- S11-6 先端技術との融合に向けた視点—介護負担と未来技術への配慮
 大沢 愛子（国立長寿医療研究センター）
- 17:20~19:20 シンポジウム 12
 「認知症における AI・ロボットの現状」
 座長：近藤 和泉（国立長寿医療研究センター）
- S12-1 回想機能を持った傾聴ロボットの開発
 近藤 和泉（国立長寿医療研究センター）
- S12-2 AI を用いた認知症対応技術の調査—利用者視点に立って—
 佐藤 健二（SOMPO ホールディングス株式会社 シニアマーケット事業部/
 国立長寿医療研究センター リハビリテーション科部）

- S12-3 超高齢化社会に向けた AI 活用
中田 武男 (日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所
アクセシビリティ&ヘルスケア)
- S12-4 Pepper を使った認知機能低下予防のための Activity
伊藤 秀樹 (株式会社エクシング)

第3会場 3F 431+432

8:50~10:50 シンポジウム 13

「栄養と認知機能—日本人を対象とした疫学研究—」

座長：大塚 礼 (国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター)
二宮 利治 (九州大学大学院医学研究衛生・公衆衛生学分野)

- S13-1 食事と認知症の関係：久山町研究
二宮 利治 (九州大学大学院医学研究衛生・公衆衛生学分野)
- S13-2 認知症・要介護発生に関する疫学研究：大崎コホート 2006 研究
張 姝 (東北大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学分野)
- S13-3 低栄養および食品摂取多様性の加齢変化パターンと認知機能
横山 友里 (東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム)
- S13-4 地域住民における食事と認知機能および海馬容積との関連
大塚 礼 (国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター)

11:00~11:50 ミニシンポジウム

1 「認知症への非薬物療法としての口腔管理および化粧・整容療法」

座長：阿部 康二 (日本化粧療法医学会理事長・岡山大学医学部脳神経内科)
演者：角 保徳 (国立長寿医療研究センター 歯科口腔先進医療開発センター)

2 「化粧による脳機能への影響」

座長：浦上 克哉 (日本化粧療法医学会理事・鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座環境保健学分野)
演者：阿部 康二 (岡山大学脳神経内科)

共催：日本化粧療法医学会

12:00~12:50 ランチョンセミナー 7

「認知症予防を目的とした運動方法：現状のエビデンスと今後の課題」

座長：二宮 利治 (九州大学大学院医学研究衛生・公衆衛生学分野)
演者：島田 裕之 (国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター)

共催：インターリハ株式会社

13:00~15:00 シンポジウム 14

「認知症初期集中支援チーム」

座長：鷺見 幸彦（国立長寿医療研究センター）

- S14-1 政令指定都市における認知症初期集中支援チームの取り組み
仙田 裕子（一般財団法人 名古屋市療養サービス事業団）
- S14-2 中核市・長野市における認知症初期集中支援チームの活動
宮下 真理子（長野市保健所健康課）
- S14-3 地域包括ケアシステムの構築に向けた認知症初期集中支援チームの取り組み
について 小規模都市における認知症初期集中支援チーム
高見 靖雄（社会福祉法人東浦町社会福祉協議会 東浦町高齢者相談支援センター）
- S14-4 認知症初期集中支援チームと連携する様々な仕組み
進藤 由美（国立長寿医療研究センター）
- S14-5 認知症初期集中支援チームの評価指標
鷺見 幸彦（国立長寿医療研究センター）

15:10~17:10 シンポジウム 15

「ICT を活用した認知症にやさしいまちづくり」

座長：進藤 由美（国立長寿医療研究センター）

- S15-1 認知症、笑顔のままで一生活上の工夫—
山田 真由美（おれんじドアも〜やっこなごや）
鬼頭 史樹（名古屋市認知症相談支援センター）
- S15-2 みまもりあいプロジェクト
高原 達也（社団法人セーフティネットリンケージ）
- S15-3 ICT を活用した認知症にやさしいまちづくりの可能性と課題
岡田 誠（認知症フレンドリージャパン・イニシアチブ）

17:20~19:20 シンポジウム 16

「認知症診断における画像診断の最前線」

座長：伊藤 健吾（国立長寿医療研究センター）

兄玉 直樹（新潟医療福祉大学 医療技術学部）

- S16-1 認知症の形態画像診断—病理診断例から学んだことを中心に—
櫻井 圭太（帝京大学医学部放射線科学講座）
- S16-2 SPECT の臨床応用
羽生 春夫（東京医科大学 高齢総合医学分野）
- S16-3 MRI-QSM 画像での鉄沈着解析による認知症早期診断
工藤 與亮（北海道大学）
- S16-4 PET による認知症画像診断の展望
石井 賢二（東京都健康長寿医療センター研究所）

共催：日本メジフィジックス株式会社

8:50~9:50 口演 21 「認知症と運転 1」

座長：福田 敏秀（高知県立大学 社会福祉学部社会福祉学科）
 評価委員：小浦 誠吾（西九州大学 リハビリテーション学部）

O21-1 認知機能検査員の取得と認定認知症領域検査技師との関わり、今後の展望

大井 茂昭
 大阪府済生会中津病院 検査技術部

O21-2 高齢ドライバーの減速行動と身体機能についての実験的検討

太子 のぞみ^{1,2)}、浅田 克子³⁾、臼井 伸之介⁴⁾
 1) (独) 日本学術振興会、2) 同志社大学 研究開発推進機構/心理学部、3) 八尾自動車教習所、
 4) 大阪大学大学院 人間科学研究科

O21-3 高齢者対象の補助デバイスやサービスは高齢運転者を救えるか

中村 拓司
 TACT

O21-4 高齢ドライバーにおける自動車事故経験に関連する因子の検討

石井 秀明、土井 剛彦、堤本 広大、中窪 翔、金 珉智、栗田 智史、島田 裕之
 国立長寿医療研究センター予防老年学研究部

O21-5 75歳未満の高齢ドライバーに対する認知症スクリーニング実施結果

平塚 雅之¹⁾、鈴木 美緒²⁾、平塚 喜之¹⁾、並木 靖幸¹⁾
 1) NPO法人高齢者安全運転支援研究会、2) 東海大学

O21-6 運転免許外来受診者が免許返納に伴い想定する生活支障に対する支援

西橋 佳花^{1,2)}、金島 由佳^{1,2)}、吉武 亜紀^{2,3)}、赤松 祐美^{2,3)}、久徳 弓子^{2,4)}、砂田 芳秀^{2,4)}
 1) 川崎医科大学附属病院 患者診療支援センター、2) 川崎医科大学附属病院 認知症疾患医療センター、
 3) 川崎医科大学附属病院 臨床心理センター、4) 川崎医科大学 神経内科学

9:50~10:50 口演 22 「認知症と運転 2」

座長：土井 剛彦（国立長寿医療研究センター）
 評価委員：三浦 里織（福島県立医科大学 新医療系学部設置準備室）

O22-1 高齢ドライバーの免許更新・返納に対する意識調査

浅田 克子¹⁾、太子 のぞみ^{2,3)}
 1) 八尾自動車教習所、2) (独) 日本学術振興会、3) 同志社大学 研究開発推進機構/心理学部

O22-2 高齢ドライバーの運転挙動の経年変化

鈴木 美緒¹⁾、平塚 雅之²⁾、平塚 喜之²⁾、並木 靖幸²⁾
 1) 東海大学 工学部土木工学科、2) NPO法人高齢者安全運転支援研究会

O22-3 認知症患者に対して自動車運転免許証自主返納をいかに促すか～返納拒否患者のプロファイル～

井手 芳彦、日和田 正俊、麻生 沙弥香、久 雅代、松尾 七美紀、松永 敬子、桑原 友紀子、
 前田 成洸
 医療法人白十字会佐世保中央病院 認知症疾患医療センター

O22-4 運転免許証更新時等に認知症の恐れがあるとして受診された患者の現状調査

藤本 雅子¹⁾、檜垣 綾¹⁾、西川 智和²⁾、山崎 雅美²⁾、福場 浩正²⁾、宮地 隆史²⁾
 1) 国立病院機構柳井医療センター 地域医療連携室、2) 国立病院機構柳井医療センター 脳神経内科

O22-5 高齢ドライバーの運転実態と認知機能

並木 靖幸¹⁾、鈴木 美緒²⁾、平塚 喜之¹⁾、平塚 雅之¹⁾
 1) NPO法人高齢者安全運転支援研究会、2) 東海大学

O22-6 運転免許更新時第一分類(認知症の恐れがある)と判定され、臨床的に MCI と判断した受診者の経過と脳血流 SPECT 所見について

涌谷 陽介、高尾 芳樹
 倉敷平成病院 脳神経内科・認知症疾患医療センター

10:50~11:50

口演 23 「初期集中支援」

座長：原田 俊英（公立大学法人 県立広島大学 保健福祉学部）
評価委員：野田 由香子（中田医院）

O23-1 三条市初期集中支援チームによる支援の事例紹介

布施 良友¹⁾、坂井 美和子¹⁾、阿部 育子²⁾、山下 修平³⁾、山寺 忠之⁴⁾
1)医療法人社団川瀬神経内科クリニック、2)済生会三条訪問看護ステーション、3)介護老人保健施設いっぶく2番館、
4)メッツ嵐南薬局

O23-2 葛飾区における認知症早期発見の取り組みの中での、認知症初期集中支援チームの実際

和泉 紀彦¹⁾、南須原 洋一¹⁾、豊田 千純子¹⁾、黒坂 具子¹⁾、浅川 しのぶ¹⁾、稲葉 敏²⁾、
赤畑 正樹³⁾、和泉 武彦¹⁾
1)医療法人社団 双泉会 いずみホームケアクリニック、2)いなば内科クリニック、3)細田診療所

O23-3 多医療機関の多職種連携による飯塚医師会主導の認知症初期集中支援チーム

柴田 美恵子
医療法人 康和会 柴田みえこ内科・神経内科クリニック

O23-4 地域包括支援センターが発言したくなる会議の作り方

新倉 健太郎、伴 正海、小原 愛華、木名瀬 智香子、岩田 深雪、浜本 史子、内門 大丈
湘南いなほクリニック

O23-5 「もの忘れ外来」が認知症の早期発見に果たす役割について

伊東 民雄¹⁾、岡 亨治¹⁾、鷺見 佳泰¹⁾、村上 宣人²⁾、荒 清次¹⁾、相本 康晴²⁾、村橋 威夫¹⁾、
森 大輔¹⁾、淵崎 智紀¹⁾
1)中村記念南病院 脳神経外科、2)中村記念南病院 脳神経内科

O23-6 認知症ケアパスの冊子に含まれるコンテンツと想定読者～予防に関する情報を効果的に伝達するために～

進藤 由美、三浦 久幸
国立長寿医療研究センター

12:00~12:50

ランチョンセミナー 8

「認知症の予防と治療～薬物・非薬物による脳賦活療法～」

座長：富本 秀和（三重大学大学院医学系研究科 神経病態内科学）
演者：上田 孝（医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科）

共催：小野薬品工業株式会社

13:00~13:40

口演 24 「認知症とうつ」

座長：高橋 純子（岩手医科大学 神経内科）
評価委員：山本 泰司（神戸大学保健管理センター）

O24-1 地域在住高齢者における継続した身体活動セルフモニタリングと抑うつ傾向の変化との関連

千葉 一平、李 相侖、裴 成琉、牧野 圭太郎、新海 陽平、片山 脩、原田 健次、島田 裕之
国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター

O24-2 疼痛による活動制限と抑うつ傾向の合併が認知症発症に及ぼす影響：3年間の縦断研究

牧野 圭太郎、李 相侖、裴 成琉、新海 陽平、千葉 一平、片山 脩、原田 健次、島田 裕之
国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター

O24-3 脳由来神経栄養因子（BDNF）減少とうつ傾向は認知症に影響を与えるのか？

堤本 広大、土井 剛彦、中窪 翔、金 珉智、栗田 智史、石井 秀明、島田 裕之
国立長寿医療研究センター

O24-4 高齢者のうつ予防：ポジティブな対話型写真鑑賞プログラムの気分改善効果

石原 眞澄、斉藤 民、櫻井 孝、島田 裕之、荒井 秀典
国立長寿医療研究センター

13:40~14:40 口演 25 「生活習慣病と感覚器障害」

座 長：太田 康之（岡山大学 脳神経内科）

評価委員：高村 歩美（鳥取大学医学部保健学科 生体制御学講座）

O25-1 ヒト試験における黒米・超硬質米配合米飯の食後血糖上昇およびアミロイドベータ比率低下の複合抑制効果

大坪 研一¹⁾、中村 澄子¹⁾、春日 健作²⁾、原 崇³⁾、田中 宥司¹⁾、伊藤 満敏¹⁾、相井 城太郎¹⁾、中野 絢菜¹⁾、後藤 博¹⁾、平山 匡男⁴⁾、渡辺 賢一⁴⁾、長嶺 敬⁵⁾、池内 健²⁾

1)新潟薬科大学応用生命科学部、2)新潟大学脳研究所、3)新潟大学農学部、4)新潟バイオリサーチパーク（株）、5)農研機構中央農研北陸拠点

O25-2 低血糖による認知症の発症リスク～特に SU 薬使用との関連について～

後藤 誠一¹⁾、横溝 由史²⁾

1)医療法人 藤誠会 後藤クリニック、2)医療法人 横溝内科クリニック

O25-3 認知症における嗅覚障害に関する研究

増田 祥子¹⁾、細谷 隆博¹⁾、遠山 和倫¹⁾、澤井 美佳²⁾、西山 直志²⁾

1)医療法人社団 西山脳神経外科病院 デイケアセンター、2)医療法人社団 西山脳神経外科病院

O25-4 認知症患者における嗅覚異常の調査研究

泉澤 恵¹⁾、中村 さゆり¹⁾、藤井 広子²⁾、畑中 啓邦²⁾、阿部 晋衛²⁾、金谷 潔史²⁾

1)日本大学薬学部、2)東京医科大学八王子医療センター

O25-5 難聴者の認知機能低下を緩衝する心理社会的要因とは：地域高齢者を対象とする縦断疫学調査から

西田 裕紀子¹⁾、内田 育恵²⁾、大塚 礼¹⁾、丹下 智香子¹⁾、富田 真紀子¹⁾、中川 威^{1,3)}、杉浦 彩子^{1,4)}、安藤 富士子^{1,5)}、下方 浩史^{1,6)}

1)国立長寿医療研究センター、2)愛知医科大学、3)日本学術振興会、4)豊田浄水こころのクリニック、5)愛知淑徳大学、6)名古屋学芸大学

O25-6 「認知機能低下と認知症のリスク低減に関する WHO ガイドライン」からの考察

西野 憲史¹⁾、西野 恵子²⁾、飯田 康江¹⁾、杉本 智恵¹⁾

1)医療法人ふらて会 西野病院、2)社会福祉法人ふらて福祉会

14:40~15:20 口演 26 「認知症予防と睡眠」

座 長：上松 右二（和歌山県立医科大学 保健看護学部）

評価委員：河月 稔（鳥取大学 医学部 保健学科 生体制御学講座）

O26-1 高齢者における睡眠・覚醒リズムの認知機能への影響

奥田 将人¹⁾、中嶋 穂乃佳¹⁾、三田 康暁¹⁾、宮崎 総一郎²⁾、野田 明子¹⁾

1)中部大学大学院生命健康科学研究科 生命医科学専攻、2)中部大学生命健康科学研究科

O26-2 高齢者における日中の過度の眠気と軽度認知障害に関する 1 年後の追跡調査

天野 宏紀¹⁾、増本 年男¹⁾、皆木 一磨¹⁾、大谷 真二²⁾、浦上 克哉³⁾、黒沢 洋一¹⁾

1)鳥取大学 医学部 医学科 健康政策医学分野、2)鳥取大学 国際乾燥地研究教育機構、

3)鳥取大学 医学部 保健学科 生体制御学講座

O26-3 地域在住高齢者における長時間睡眠と認知症発症：BDNF が与える影響

中窪 翔、土井 剛彦、堤本 広大、栗田 智史、金 珉智、石井 秀明、島田 裕之

国立長寿医療研究センター 予防老年学研究部

O26-4 睡眠時間と過度の日中の眠気が相乗的に認知機能低下に影響する—4 年間の縦断研究—

中窪 翔、土井 剛彦、堤本 広大、栗田 智史、金 珉智、石井 秀明、島田 裕之

国立長寿医療研究センター 予防老年学研究部

- 15:30~16:00 HOT TOPICS 4
 「老化に伴う睡眠形態の変容と末梢臓器への影響について」
 座長：梅垣 宏行（名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学）
 演者：佐藤 亜希子（国立長寿医療研究センター 中枢性老化・睡眠制御研究プロジェクトチーム）
- 16:00~16:30 HOT TOPICS 5
 「エビデンス創出を目指したオレンジレジストリの取り組み～MCI レジストリを中心に～」
 座長：木村 成志（大分大学医学部 神経内科）
 演者：鈴木 啓介（国立長寿医療研究センター 治験・臨床研究推進センター）

第5会場 3F 国際会議室

- 10:00~11:50 コグニサイズ実践教室
 「コグニサイズ実践教室（実技）」
 国立長寿医療研究センター予防老年学研究部
 共催：第一生命保険株式会社
- 13:00~13:50 教育講演（特別企画）
 「医療従事者が市中病院で行う臨床研究の極意—認知症研究をはじめよう—」
 座長：高村 好実（市立宇和島病院）
 演者：原 正彦（日本臨床研究学会/島根大学地域包括ケア教育研究センター/
 株式会社 mediVR）
- 14:00~14:30 教育講演 7
 「脳血管病変と認知症」
 座長：古川 勝敏（東北医科薬科大学医学部 地域医療学）
 演者：冨本 秀和（三重大学大学院医学系研究科 神経病態内科学）
- 14:40~16:40 ワークショップ 1
 「【実践：認知症の家族支援】認知症介護者と専門職 win-win の関係を築くワザ—「学びあい×支えあい×分かちあい」×「孤立予防」のカタチを例に一」
 座長：清家 理（京都大学こころの未来研究センター上廣寄付研究部門/
 国立長寿医療研究センターもの忘れセンター）
- WS1-1 家族介護者教室の効果～介護うつと介護負担感を改善する～
 櫻井 博文（東京医科大学 高齢総合医学分野/
 東京医科大学病院 総合相談・支援センター）
- WS1-2 やってみよう！認知症家族介護者向けの教室：運営と人材育成
 竹内 さやか（国立長寿医療研究センター）

WS1-3 疲れない認知症家族介護者向けの教室：ワークショップ『プログラム体験』
清家 理（京都大学こころの未来研究センター上廣寄付研究部門/
国立長寿医療研究センターもの忘れセンター）

WS1-4 認知症家族介護者が語る『家族教室』
増田 信子（国立長寿医療研究センターもの忘れセンター家族教室修了者）

「パネルディスカッション」

櫻井 博文（東京医科大学 高齢総合医学分野/
東京医科大学病院 総合相談・支援センター）

竹内 さやか（国立長寿医療研究センター）

増田 信子（国立長寿医療研究センターもの忘れセンター家族教室修了者）

高橋 里美（豊田市 社会福祉協議会 旭支所）

中村 吉宏（愛知県福祉局高齢福祉課 地域包括ケア・認知症対策室）

16:50~17:20 教育講演 8

「今、求められている認知症診断後支援」

座長：旭 俊臣（旭神経内科リハビリテーション病院）

演者：内海 久美子（砂川市立病院 認知症疾患医療センター）

17:20~17:50 教育講演 9

「認知症カフェのエビデンス創出に向けて」

座長：當山 房子（(有)福祉ネットワーク・やえやま）

演者：武地 一（藤田医科大学医学部 認知症・高齢診療科）

17:50~18:20 教育講演 10

「地域で使える認知症の評価尺度」

座長：安部 明夫（安部第一医院）

演者：栗田 主一（東京都健康長寿医療センター研究所）

第6会場 3F 135

8:50~9:50 口演 27 「認知症予防と運動 1」

座長：米田 哲也（熊本大学大学院生命科学研究部）

評価委員：佐藤 厚（新潟リハビリテーション大学医療学部 リハビリテーション学科）

O27-1 Motoric Cognitive Risk Syndrome は認知症発症リスクになりうるのか？

土井 剛彦、堤本 広大、中窪 翔、金 珉智、栗田 智史、石井 秀明、島田 裕之
国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 予防老年学研究部

O27-2 『第2回ダンス療法フェスティバル』におけるフィットネス運動の認知機能向上アプローチ

堀 慎二¹⁾、井上 昌彦²⁾、上野 豊治⁴⁾、小川 八重子⁵⁾、尾崎 仁美⁵⁾、五月女 美幸⁵⁾、杉浦 龍太³⁾、
助信 奈穂子⁵⁾、利根川 久女紅⁵⁾、利根川 浩一⁵⁾、富永 典子⁴⁾

1) エスアンドエイチプロ、2) いのうえ内科クリニック、3) 井上医院、4) 株式会社JWI、
5) 利根川Kスタジオ・日本リンパピクス協会

- 027-3 「第2回ダンス療法フェスティバル」におけるアンケート調査
尾崎 仁美¹⁾、井上 昌彦²⁾、上野 豊治⁴⁾、小川 八重子¹⁾、五月女 美幸¹⁾、杉浦 龍太³⁾、
助信 菜穂子¹⁾、利根川 久女紅¹⁾、利根川 浩一¹⁾、富永 典子⁴⁾、堀 愼二⁵⁾
1)利根川Kスタジオ・日本リンパピクス協会、2)いのうえ内科クリニック、3)井上医院、4)(株)JWI、5)S&Hpro
- 027-4 第2回ダンス療法フェスティバル参加者のダンス運動と日常活動・身体機能・認知機能との関連性
五月女 美幸¹⁾、井上 昌彦²⁾、上野 豊治³⁾、小川 八重子¹⁾、尾崎 仁美¹⁾、杉浦 龍太⁴⁾、
助信 奈穂子¹⁾、利根川 久女紅¹⁾、利根川 浩一¹⁾、富永 典子³⁾、堀 愼二⁵⁾
1)利根川Kスタジオ 日本リンパピクス協会、2)いのうえ内科クリニック、3)(株)JWI、4)井上医院、5)S&Hpro
- 027-5 ニュースポーツ“MATTOSS”実践中の脳血流量変化—機能的近赤外分光法(fNIRS)を用いた検討—
藤井 悠也¹⁾²⁾、大藏 倫博³⁾
1)筑波大学大学院 人間総合科学研究科 体育科学専攻、2)日本学術振興会、
3)筑波大学 体育系 テーラーメイド QOL プログラム開発研究センター
- 027-6 歩行速度が低下した高齢者における座位での知的活動と認知機能障害の関連
栗田 智史、土井 剛彦、堤本 広大、中窪 翔、金 珉智、石井 秀明、島田 裕之
国立長寿医療研究センター 予防老年学研究部
- 9:50~10:50 口演 28 「認知症予防と運動 2」
座 長：久徳 弓子（川崎医科大学 神経内科学）
評価委員：澤田 浩秀（神戸常盤大学 保健科学部 医療検査学科）
- 028-1 「第2回ダンス療法フェスティバル」参加者のダンス活動と認知機能等について
井上 昌彦¹⁾、利根川 久女紅²⁾、五月女 美幸²⁾、尾崎 仁美²⁾、堀 愼二³⁾、杉浦 龍太⁴⁾、
小川 八重子²⁾、助信 奈穂子²⁾、利根川 浩一²⁾、上野 豊治⁵⁾、富永 典子⁵⁾
1)いのうえ内科クリニック、2)利根川Kスタジオ・日本リンパピクス協会、3)S&Hpro、4)井上医院、5)JWI
- 028-2 認知症予防のための「ダンス療法」の実践の場づくりを目指す
利根川 久女紅¹⁾、井上 昌彦²⁾、上野 豊治³⁾、小川 八重子¹⁾、尾崎 仁美¹⁾、五月女 美幸¹⁾、
杉浦 龍太⁴⁾、助信 奈穂子¹⁾、利根川 浩一¹⁾、富永 典子³⁾、堀 愼二⁵⁾
1)利根川Kスタジオ 日本リンパピクス協会、2)いのうえ内科クリニック、3)(株)JWI、4)井上医院、5)S&Hpro
- 028-3 認知機能の維持をもたらす生活活動に関する検討～北海道のS町とH町で実施した2年間の悉皆調査の結果から～
小田 史郎¹⁾、上田 知行²⁾、相内 俊一³⁾
1)北翔大学 生涯スポーツ学部 健康福祉学科、2)北翔大学 生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科、
3)特定非営利活動法人 ソーシャルビジネス推進センター
- 028-4 スクエアステップエクササイズの実践が認知・身体機能に及ぼす影響—1年間RCTの中間報告
尹 之恩¹⁾、立岡 光臨²⁾、薛 載勲³⁾、劉 珏³⁾、戴 宇輝²⁾、陳 曦²⁾、藤井 悠也³⁾⁴⁾、大藏 倫博¹⁾⁵⁾
1)筑波大学 テーラーメイド QOL プログラム開発研究センター、2)筑波大学 人間総合科学研究科 体育学専攻、
3)筑波大学 人間総合科学研究科 体育科学専攻、4)日本学術振興会、5)筑波大学 体育系
- 028-5 地域在住高齢者において日常生活の歩数により頭蓋内灰白質容積は異なる
原田 健次、李 相侖、裴 成琿、牧野 圭太郎、千葉 一平、片山 脩、新海 陽平、島田 裕之
国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学センター 予防老年学研究部
- 028-6 軽度認知機能低下がある高齢者における日常生活の身体活動量と脳構造および脳構造・活動ネットワークの関連
原田 健次¹⁾、李 相侖¹⁾、裴 成琿¹⁾、牧野 圭太郎¹⁾、千葉 一平¹⁾、片山 脩¹⁾、新海 陽平¹⁾、
原田 和弘¹⁾²⁾、島田 裕之¹⁾
1)国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学センター 予防老年学研究部、2)神戸大学大学院人間発達環境学研究科

10:50~11:50

口演 29 「認知症予防と運動 3」

座長：三森 康世（広島国際大学）

評価委員：栗田 智史（国立長寿研究センター予防老年学研究部）

O29-1 地域住民における日常運動習慣と認知機能の関連性上松 右二¹⁾、服部 園美¹⁾、宮井 信行¹⁾、早川 博子¹⁾、丸岡 朋子¹⁾、内海 みよ子¹⁾、有田 幹雄¹⁾、竹下 達也²⁾

1)和歌山県立医科大学 保健看護学部、2)和歌山県立医科大学 医学部 公衆衛生学

O29-2 身体機能と脳機能の相関性の分析出口 悠¹⁾、齊藤 真之介¹⁾、清水 啓子¹⁾、松下 茉里¹⁾、清水 良幸²⁾、小杉 壮²⁾、岡田 裕之^{2,4)}、尾内 康臣^{3,4)}

1)株式会社ウェルネスパートナー ウェルネス浜名湖、2)浜松ホトニクス株式会社、3)浜松医科大学 先端医学教育研究センター、4)浜松光医学財団 浜松PET診断センター

O29-3 地域在住高齢者における下肢機能の低下と多領域の認知障害の関連石井 秀明、土井 剛彦、堤本 広大、中窪 翔、金 珉智、栗田 智史、島田 裕之
国立長寿医療研究センター予防老年学研究部**O29-4 「筋トレ瞑想」と「笑筋トレ」による認知症予防（「筋トレ瞑想」は、筋トレのマインドフルネス） 瑜伽行唯識派とのかかわり**

梅村 健治

アンチエイジングトレーニングセンター アンエトレ

O29-5 スクエアステップを長期継続実践する高齢者の血中アミロイドβおよび脳由来神経栄養因子大藏 倫博¹⁾、佐賀 若菜²⁾、尹 之恩³⁾

1)筑波大学 体育系・テラーメイドQOLプログラム開発研究センター、2)筑波大学 大学院 体育学専攻、3)筑波大学 テラーメイドQOLプログラム開発研究センター

O29-6 活動促進プログラムに参加した地域在住高齢者における身体活動セルフモニタリング継続要因の検討千葉 一平、李 相侖、裴 成琉、牧野 圭太郎、新海 陽平、片山 脩、原田 健次、島田 裕之
国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター

13:00~13:50

海外招待講演**「Engagement in Dementia : Measurement and Outcomes」**

座長：西野 憲史（医療法人ふらて会）

演者：Michael Skrajner（Director of Research and Innovation, Hearthstone Alzheimer Care）

14:00~15:00

口演 30 「認知症のケア」

座長：山下 徹（岡山大学大学院 脳神経内科）

評価委員：津久井 洋子（医療法人 十字会 老人保健施設 のじま）

O30-1 急性期病院看護師の高齢患者に対するコミュニケーションの実態山根 早貴¹⁾、片寄 亮²⁾、荻田 美穂子²⁾

1)滋賀医科大学医学部附属病院看護部、2)滋賀医科大学医学部看護学科臨床看護学講座

O30-2 精神病院から入所となった周辺症状のある認知症高齢者のチームケアについて

白石 輝久

特別養護老人ホーム ハートフル片野

O30-3 甲南病院におけるリエゾン・認知症ケアチームの活動松山 賢一¹⁾、奥澤 朋奈²⁾、田村 浩恵³⁾

1)一般財団法人甲南会 甲南病院 精神科、2)一般財団法人甲南会 甲南病院 看護部、3)一般財団法人甲南会 甲南病院 看護支援センター

O30-4 認知症の経過を物語としてとらえ、強みを見出すことの試み

管谷 由紀子¹⁾、尾方 睦望¹⁾、辻 正純²⁾、黒宮 寛之³⁾、山口 郁博³⁾

1)医療法人社団翔洋会脳リハビリデイサービス大泉学園はなみずき、2)医療法人社団翔洋会辻内科循環器科歯科クリニック、3)東京大学大学院教育学研究科

O30-5 認知症ケア回診の開始による身体抑制の減少

三品 雅洋^{1,2,3,4)}、山崎 明子^{1,4)}、窪田 裕子^{2,5)}、上原 嘉子^{2,6)}、駒井 侯太^{1,4)}、酒巻 雅典^{1,4)}、木村 和美⁴⁾

1)日本医科大学武蔵小杉病院 脳神経内科、2)日本医科大学武蔵小杉病院 認知症センター、3)日本医科大学大学院 医学研究科 脳病態画像解析学講座、4)日本医科大学大学院 医学研究科 神経内科学分野、5)日本医科大学武蔵小杉病院 看護部、6)日本医科大学武蔵小杉病院 医療福祉支援室

O30-6 自動発信電話サービスによるアルツハイマー病患者の不安軽減効果

太田 康之¹⁾、菱川 望¹⁾、山下 徹¹⁾、佐藤 恒太¹⁾、武本 麻美¹⁾、表 芳夫¹⁾、川野 公子²⁾、堂垂 伸治³⁾、阿部 康二¹⁾

1)岡山大学大学院 脳神経内科学、2)岡山県難病医療連絡協議会、3)どうたれ内科診療所

15:00~16:00 口演 31 「予防活動（介入効果）」

座 長：涌谷 陽介（社会医療法人全人会 倉敷平成病院 神経内科・認知症疾患医療センター）

評価委員：野田 明子（中部大学大学院 生命健康科学研究科）

O31-1 ツルレイシ抽出物によるヒトにおける認知機能と周辺症状の改善作用に関する研究

長島 孝樹^{1,2)}

1)株式会社マックビー 研究開発部、2)医療法人雅紀会

O31-2 指先の触覚から記憶を振り返り、自分の存在を問い直す方法の開発

守山 正樹^{1,2)}

1)日本赤十字九州国際看護大学、2)NPO法人ウェルビーイング

O31-3 高校生による高齢者への園芸活動の提供が及ぼす心理的・教育的影響

菊川 裕幸^{1,2)}

1)西日本短期大学 緑地環境学科、2)京都大学大学院 農学研究科

O31-4 「みんなの認知症予防ゲーム」に依るリズム感の回復＝認知症の予防と引き戻し＝

高林 実結樹、原 悦子

NPO法人 認知症予防ネット

O31-5 介護予防を目的としたセルフモニタリングの効果検証：ランダム化比較試験

島田 裕之¹⁾、李 相侖¹⁾、牧野 圭太郎¹⁾、斐 成琉¹⁾、新海 陽平¹⁾、千葉 一平¹⁾、片山 脩¹⁾、原田 健次¹⁾、山城 由華吏²⁾、高柳 直人²⁾、須藤 元喜²⁾、仁木 佳文²⁾

1)国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター、2)花王株式会社パーソナルヘルスケア研究所

O31-6 トドマツから抽出した精油を用いた芳香療法が認知機能に与える影響についての検討

河月 稔¹⁾、勝部 史也¹⁾、小橋 悠輝¹⁾、小澤 洋平²⁾、金子 俊彦²⁾、浦上 克哉¹⁾

1)鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座、2)日本かおり研究所株式会社

16:10~17:10 口演 32 「認知症カフェ、地域包括ケア」

座 長：天野 宏紀（鳥取大学医学部医学科社会医学講座健康政策医学分野）

評価委員：牧野 圭太郎（国立長寿医療研究センター 予防老年学研究部）

O32-1 A 病院が行うオレンジ倶楽部（認知症カフェ）の認知症予防効果

林 浩靖¹⁾、櫻井 孝²⁾、杉本 大貴²⁾

1)医療法人 光ヶ丘病院、2)国立長寿医療研究センター 物忘れセンター

O32-2 認知症カフェが地域に根付いていくために～ららカフェを基盤とした1年間の取り組み～

小川 咲子¹⁾、寺井 アレックス大道¹⁾、中山 寛人^{1,2)}、水木 寛¹⁾

1)医療法人水の木会 下関病院、2)医療法人ふらて会 西野病院

- 032-3 作業療法士が創る地域主体の認知症カフェ～続報・地域住民の主体性の促進へ向けての仕掛け～
稲橋 秀樹、小林 祐子、石川 英樹、藪田 沙織、小林 柚香
医療法人社団心の絆蓮田よつば病院
- 032-4 クリニック併設型の認知症カフェが抱える現状の問題点と今後の展望
後藤 誠一¹⁾、後藤 利予²⁾、永田 広好²⁾、舟本 祥子²⁾
1)医療法人 藤誠会 後藤クリニック、2)メモリーカフェ・オン
- 032-5 地域包括ケア病棟に入院する患者の臨床的特徴と治療薬が及ぼす認知症への影響について
岩田 元気¹⁾、西村 英尚¹⁾、丹羽 伊紀詠¹⁾、高坂 香奈子²⁾、渡邊 智美²⁾、山本 ひとみ²⁾、
後藤 忍³⁾、村瀬 全彦³⁾、大角 幸男³⁾
1)羽島市民病院 薬剤部、2)羽島市民病院 看護部、3)羽島市民病院 医局
- 032-6 中山間地に暮らす向老期住民の認知症予防への関心と地域活動への参加意欲
長尾 奈美、入野 了士、鳥居 順子、江崎 ひろみ、永井 さつき、野村 美千江
愛媛県立医療技術大学保健科学部看護学科

17:10～18:00 口演 33 「認知症の生活障害、介護保険制度」

座長：大井 博司（広島国際大学 総合リハビリテーション学部）
評価委員：木村 藍（国立長寿医療研究センター もの忘れセンター）

- 033-1 DASC-21 を用いた地域住民の認知機能と生活機能の調査
松岡 友絵¹²⁾、玉木 聡¹⁾、渡邊 桃子¹⁾、吉原 郁子¹⁾、鶴飼 克行²⁾
1)総合上飯田第一病院 リハビリテーション科、2)総合上飯田第一病院 老年精神科
- 033-2 回復期リハビリテーション病棟における生活意欲向上の仕組みづくり
武智 薫、西野 憲史、中村 則子、峰松 由香、青木 信吾
医療法人ふらて会 西野病院 リハビリテーション科
- 033-3 更衣動作を通して生活障害の改善に繋がった症例
中村 則子
医療法人ふらて会 西野病院
- 033-4 園芸療法における当院の取り組み～連携の重要性の検討～
峰松 由香、西野 憲史、武智 薫、中村 則子、青木 信吾
医療法人ふらて会 西野病院
- 033-5 要介護認定の申請を勧奨するための最適な評価基準の検討—基本チェックリストとNCGG-ADL スケールを用いた検討—
片山 脩、李 相侖、牧野 圭太郎、裏 成琉、千葉 一平、新海 陽平、原田 健次、島田 裕之
国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター

18:00～18:40 口演 34 「認知症の行動心理症状」

座長：柳本 有二（神戸常盤大学）
評価委員：中窪 翔（国立長寿医療研究センター 予防老年学研究部）

- 034-1 【脳血管性認知症患者が語る脳内】脳内の様子と、『脳内活性化成功体験例』・『認知症高齢者患者の周辺症状解消の成功例』
頓宮 穰爾¹²⁾
1)株式会社スタジオレイ メンタル部門、2)あうるクリニック東海
- 034-2 アルツハイマー型認知症における性格や社会的環境要因をふまえた行動・心理症状の検討
勝部 史也、河月 稔、小橋 悠輝、古川 翔太、三谷 圭右、澤口 安男、三谷 且哉、
高村 歩美、浦上 克哉
鳥取大学医学部 保健学科 生体制御学講座

- O34-3 家族の介入により認知機能障害による周辺症状が緩和された症例について
川島 奈津子、弘光 夏弓、藤本 志帆、松本 典子
川崎医科大学附属病院 脳神経内科
- O34-4 環境調整によって認知症の行動・心理症状と心因性頻尿が改善した事例
奥 ゆかり
医療法人ふらて会 介護老人保健施設やすらぎ